



弟子、東海大学へ

アッサラームアライクム。

祝！メイサ・モハメド、東海大学進学決定！！

皆様の多大なる支援をいただき、UAE 唯一の女子柔道選手である弟子のメイサが先月、東海大学へと出発しました。メイサは柔道が大好きで、素直で笑顔が素晴らしい女の子です。しかし、1年前くらいから家庭の事情で柔道の練習をあまりできませんでした。私の客観的な感想としては、その頃から少し笑顔が減り、心配になる部分もありました。私は「東海大学に行けば柔道も勉強もできるから、楽しみにしてなさい」そんな思いだけでした。彼女は私が UAE へ来た頃から東海大学への進学を望んでおり、今回、東海大学への進学が決まり飛び立っていました。

文武両道の無い国から、文武両道の国へ。始めはとて苦勞すると思います。日本に柔道留学へ行くからには厳しい練習に耐えなければなりません。忍耐力が必要です。更に柔道と学問を平行に行う必要があります。彼女にとっては、考えられない未知の世界だと思います。

文武両道が可能な日本で柔道と学問を楽しみ、こ

— 出来事 —

- 11月2日(金)、在 UAE 日本大使館、UAE 柔道連盟共同主催、第三回日本大使杯が行われました。

شكرا

シュクラン日記

今月のアラビア語

アナ ミン アル ヤバン

意味：日本出身です

11月号

のチャンスを自分のモノにするのか、母国に居るの学生の様に趣味で柔道を楽しみ、母国の大学と同じ大学生活を送るのか…。これからの彼女の人生なので、私は頑張れとしか言えません。是非彼女には先攻の充実した生活を送ってほしいですね。

この留学には東海大学を始め、在 UAE 日本大使館、や JODCO 様、JICE 様のご支援が無ければ彼女が東海大学へ行くことは難しかったと感じております。この場をお借りし、ご支援下さいました方々に厚く御礼申し上げます。これからもメイサ、そして UAE 柔道を応援していただきますよう心よりお願い申し上げます。

トルコ

2018年10月23日～26日、トルコはアンカラへ行ってきました。トルコでは、国技のレスリング、サッカーに続き柔道が人気だそうです。トルコ柔道連盟の調べによると、13-14歳だけで男子10万人、女子が8万人の柔道家が居る様です。学校教育にも柔道が組み込まれている様で、それを追加すると膨大な数になると言っていました。ざっと考えてもフランスの柔道人口と良い勝負になるかと思えます。フランスの柔道人口は日本の3~4倍と言われており、今ではフランスは日本よりも柔道大国と言っても過言ではありません。そのフランスに匹敵する人口のトルコは、日本よりもはるかに柔道人口が多いと言えるのではないのでしょうか。トルコでは、

柔道の先生になる為に国家試験を受ける必要があるようです。必須となっている国家試験でも5つのレベルに分かれており、レベルが低いほど指導できる年齢や場所が限られているそうです。話を聞いていると如何に柔道に力を入れているか、何故これほど人口が多いのかが分かったような気がします。

今回、NPO法人柔道教育ソリダリティーからお声掛けをいただきまして、トルコはアンカラに指導支援へ行かせていただきました。今回の指導は、在トルコ日本大使館、トルコ柔道連盟、NPO法人柔道教育ソリダリティーが協力し、シリア難民の為に柔道教室が実施されました。

一緒に参加した先生方に話を聞くと、今回参加したシリア難民の子ども達は、何百キロという長い道のりを一歩一歩、明日があるか分からない戦争の中から逃げてきたそうです。今もなお、シリア側から難民キャンプへ攻撃され、毎日を怯えながら生きていると先生方は言っていました。さっきまであんなに楽しそうに柔道をしている子ども達は、生まれてからずっと生死の境目で生きています。とても良い笑顔。楽しそうに柔道をしてくれるなと思っていた子供たちがシリア難民の子ども達なんて想像していませんでした。

日本大使館の宮島大使との会食で貴重なお話を聞かせていただきました。戦争を知らない子は想像で戦争の絵を描くので黒色を中心に使い真っ黒い印象の絵を描く。しかし、戦争を経験した子供たちは白



い紙に、まず花を一本描くそうです。その花の周りに人を描き、その人たちは涙を流しているとのことでした。同じ戦争の絵でも、想像で描く戦争と、希望を描く戦争では全く違うものになります。私は、彼ら彼女たちの笑顔を見て、少しでも希望を与えることができたのかなと嬉しさ半分、もっとできたのではという悔しさ半分、複雑な気持ちになりました。もっと柔道を通して彼ら彼女らに笑顔になってほしいと純粹に感じた柔道指導となりました。彼らはまた難民キャンプに戻ります。複雑です。

今回、私自身は深く考えさせられ、成長できた柔道指導ができたと感じております。特に、難民の子ども達には大切なことを教えてもらいました。柔道をしてきた中で、一番良い笑顔を見せていただきました。あの笑顔は、今後忘れることは無いでしょう。トルコ柔道連盟も難民の子ども達の支援を多く行っており、これぞ柔道の素晴らしさかなと感じております。

最後に、支援してくださいました方々に深く感謝いたしますと共に、これからもできる限り柔道を通して多くの人に笑顔を届けいきたい次第でありますので、今後とも応援していただきますよう何卒宜しくお願い致します。

最後にいくつか写真をご覧ください。



(左から一寸木様：日本大使館、セゼール会長：ト

ルコ柔道連盟、光本健次師範、原口：UAE柔道連盟、小橋川君：東海大学支援学生、カパン副会長：トルコ柔道連盟)



(光本健次師範による柔道教室開会式模様)



(NPO 法人柔道教育ソリダリティー支援柔道衣)

(UAE柔道連盟 原口直也)